



男女共同参画情報誌

あなたとわたし

vol.67

性別や年齢、国籍などの違いを超え、平等にともに手を携える関係でありたいから



特集 あなたもあなたも大切に

～助産師から見る包括的性教育と
男女共同参画について～



「あなたとわたし」デージー版について

目の不自由な方でデージー CD版「声のあなたとわたし」を希望される方に配布しますので、ご希望の方はお申し込みください。

【問合せ】福生市生活環境部協働推進課
電話 042-551-1590

「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」（性と生殖に関する健康と権利）が国際的にも提唱されています。

自身の心と体を大切にすることで、他者の心身も大切に思うことができるのではないのでしょうか。

今号では、いのちに携わる助産師の方への取材を通し、助産師の視点から見る包括的性教育と男女共同参画について伺いました。

特集 あたしもあなたも大切に

～助産師から見る包括的性教育と男女共同参画について～

令和6年4月1日に「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行されました。

様々な背景や困難を抱える女性は、生活困窮、身体的精神的DV、ストーカー被害、性暴力・性犯罪被害、人身取引被害や家庭関係破綻、近年ではAV出演強制、JKビジネスなど、課題は複雑化・多様化・複合化しています。このことから今号では、「わたしもあなたも大切に」をテーマに、包括的性教育と男女共同参画について、いのちに直接携わる助産師の立場からのお話を伺いました。

今村 理恵子 助産師

(森田助産院 副院長、日本助産師会理事・東京都助産師会監事)

昭和27年に開業した助産院のお子さんとして生まれ、日常生活の中で赤ちゃんと共に接する環境で育ち、子が育つ喜びや人が親として成長していく様子を近くで見えてきた中で「赤ちゃんに関わりたい」との強い思いから助産師資格を取得される。病院勤務を経て、自身の結婚を機に祖母が経営する助産院に入り、現在も母である森田玲子院長と「森田助産院」の運営に携わる傍ら、行政の新生児訪問や母子保健事業の活動を約30年間続けている。



包括的性教育が言われていますが…

日本古来の性に対する教育の中では、「未婚のうちは行為があってはならない」、「大人になってから」などと教え続けられてきた時代があり、まるで悪いことのように思ってしまう人もいたのではないかと思います。本来は愛情のコミュニケーションであり、いけないことではありません。

日本助産師会のメンバーにも包括的性教育の一環として小学校などへ出向き、小学生に対して講話を行っている助産師がいます。包括的性教育では、その年齢に応じた教育内容で正しく教えることが必要であるとしています。

包括的性教育とは

「包括的性教育」とは身体や生殖のしくみだけでなく人間関係や性の多様性、ジェンダー平等、幸福など幅広いテーマを含む教育のことを言います。「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」はユネスコ(国際連合教育科学文化機関)が中心となって作成した包括的性教育の国際的な指針です。

このガイダンスでは、発達段階に合わせたカリキュラムとして、次の8つのキーコンセプトを4つの年齢グループ(5～8歳、9～12歳、12～15歳、15～18歳)で継続的に学習することが勧められています。

(8つのキーコンセプトとは)

1. 人間関係、2. 価値観、人権、文化、セクシュアリティ、3. ジェンダーの理解
4. 暴力と安全確保、5. 健康とウェルビーイング(幸福)のためのスキル
6. 人間のからだと発達、7. セクシュアリティと性的行動、8. 性と生殖に関する健康を言います。

お互いの心と体を大切にするために…



社会問題になっているJKビジネスなどで性被害問題が増えてきているように見えますが、実際には今までもあったものがSNSの普及や相談先が多くなったことで顕在化しているだけなのかもしれません。私たち日本助産師会でも相談を各所で受けています。その中で電話をかけられる方は勇気があるほうで、直接でなくともメールやLINEなどの相談でもよいので対話を切らずに支援につなげていくことが重要です。

そのほか、緊急避妊薬であるアフターピルが日本でも認可されましたが、誰にでも処方されるわけではなく医療機関で処方され、あくまでも緊急的な

ものです。日本での人工妊娠中絶は器械で行っており、身体が傷つかないことはないのです。アフターピルを服用することで望まない妊娠を防ぎ、女性の心身が傷つくことを防げますが、薬ではあるので飲まないに越したことはありません。また、避妊薬としてのピルも昔からありますが、妊娠は防げても性病は防げず、現在ものすごい勢いで罹患者が増え続けています。性病は不妊につながる病でもありますので、予防することが重要です。

助産師には女性だけでなく男性もいますか？

現在、日本での助産師は女性のみです。助産師国家試験の受験資格が女性のみとなっているのは、日本の助産師業務は海外の助産師業務と違い特殊な点があることが理由と思われます。海外の助産師業務では医療的な職域が広く母乳ケアは行っておりません。母乳ケアは日本独特の業務であるようです。その点から日本での男性の助産師資格がないことに影響していると思われるので、世界には男性助産師がいるから日本でも同じようにと一概に日本と外国との比較はできないと思います。「包括的性教育」の観点からは男性の助産師もいたほうが良いのかなと個人的には思う面もあります。



助産師から見る男女共同参画について

結婚したら子を産み、女性が子育てをするということが当たり前とされていた時代から多様性の時代となり、結婚をす

るしない、子を持つ持たないなど考え方は人それぞれです。

助産師の仕事をしていると楽しんで育児されている若い世代のパパさんを多く目にします。

男性が積極的に育児を行うことで大変さだけでなく子育ての楽しさを知ることができ、家族関係も良好になり赤ちゃんの表情も良くなり育っています。パパにはママの聞き役にもなってほしいですけど(笑)・・・現実なかなかなかそうはいかない。最近ではパパ教室や新米パパ講座などが各地で始まっています。パパが育休を取っても何をしたらよいかわからず困ってしまわないように、どのようなことが必要で何をしたらよいかを学べる場になっています。

また、女性の社会進出には男性が積極的に育児休暇を取得することが重要だと思います。男女が同じように育児のための休暇を取ることで育児休暇などを理由とした仕事上の男女差がなくなり、育児に男性が関われば関わるほど、社会的にも男女が平等になると考えています。育児はやってもらうものでもやってあげるものでもありませんよね。

いのちのつながり

講義の際にいつもお話ししていることなのですが…私たちが生まれるずっと以前からたくさんのいのちがつながり続けています。

自分が生まれてきたことは奇跡的な数字の中の一人であり、いのちを授かることも奇跡的なこと。奇跡的な一人として生を受けた自分を大切にして、毎日小さいことでよいので自分をほめて自己肯定感を高めてほしいと思います。



森田院長と今村副院長

困っていたり悩んでいたら、 ひとりで抱えず相談しましょう

相談は、次の機関で行っています。電話、LINEなどでも
相談できます。話しやすいところに相談してください。

◆ささえるライン@東京(LINE相談)

14:00～20:00 ※年末年始、7月第3日曜日を除く。



◆Cure Time(キュアタイム)

(性暴力に関するSNS相談)



◆DV相談+(プラス) ☎ 0120-279-889 ※24時間受付

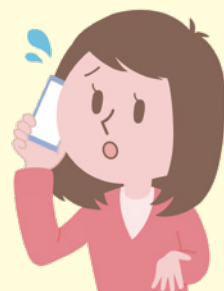
◆東京ウィメンズプラザ

(DV専用)☎ 03-5467-1721(9:00～21:00) ※年末年始を除く。

(男性用)☎ 03-3400-5313

(月・水・木17:00～20:00、土14:00～17:00) ※祝日・年末年始を除く。

◆女性等悩みごと相談(秘書広報課広報広聴係) ☎ 042-551-1529(要予約)



協働推進課では「男女共同参画セミナー」を開催しています

協働推進課では、男女共同参画に関するさまざまなテーマを題材に毎年1回男女共同参画セミナーを開催しています。令和6年度は、「DV・デートDVってなんだろう～自分と周りが気付くことから始めよう～」をテーマに NPO 法人レジリエンス代表 西山さつき氏にご自身の経験を踏まえ、DV やデートDV について講演いただきました。次回開催の際には広報等でお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。



企画・デザイン・印刷

有限会社

あっぷ
印刷工房

Tel. 042-539-7685

Fax. 042-539-7686

mail. upf-2@tbe.t-com.ne.jp

「あなたとわたし」の 編集員を募集しています!



誌面の企画や編集、取材にご協力いただける方を募集しています。
無償ボランティアです。経験は問いませんので
ぜひお気軽にご応募ください。

問合せ

福生市 生活環境部 協働推進課

電話 042-551-1590

編集 後記



●生命の尊さを論してくださる助産師の皆さんが素晴らしい。大変なお仕事と知りました。…………… [I]

●包括的に、自分を大切に、二つの言葉が印象に残りました。…………… [T]

●包括的性教育についての勉強になりました。もっと普及してほしいです。…………… [M]

市民編集員

泉由紀、田中直美、正木直美 (50音順)

作製・編集: (有) あっぷ印刷工房

あなたとわたし vol.67 2025年3月発行

発行: 福生市 生活環境部 協働推進課

〒197-8501 東京都福生市本町5番地 電話042-551-1590

<https://www.city.fussa.tokyo.jp/>



再生紙を使用しています